

皆さんから納めていただいた大切な税金で、さまざまな事業を行いました 平成30年度の主な事業の取り組みをご紹介します

総務費 96億5,579万円

■防災対策事業 6,493万円

市内を10のエリアに分け、小木・羽茂・赤泊を除く7地区の津波・洪水による浸水害および土砂災害警戒区域等の危険箇所を記した冊子を各世帯に配布しました。

■世界遺産登録推進事業 2,291万円

世界遺産推薦書（原案）のブラッシュアップを行うとともに、世界遺産登録に向けた構成資産の価値や魅力を県内外へ発信しました。また、講演会や歴史探訪事業を通し、皆さんに佐渡金銀山の価値を知っていただくための機会を提供しました。

■文化財管理事業 2,173万円

文化財の適切な保存・活用を図るため、その修理等に対する補助金を交付するとともに、解説板、標柱を設置しました。

また、世界遺産登録後を見据え、歴史・文化を活かすまちづくりを進めるため、歴史的風致維持向上計画の策定に取り組みしました。



民生費 96億2,699万円

■児童館・学童保育運営事業 6,752万円

児童に健全な遊びを提供して健康増進や情操を豊かにするための「児童館」や、保護者が共働きなどで家庭にいない小学生を対象に、児童支援員を配置し、適切な遊びや生活の場を提供する「放課後児童クラブ（学童保育）」の運営を行いました。



衛生費 45億2,691万円

■島民一丸となった環境美化活動推進事業 3,033万円

「環境の島佐渡、世界遺産にふさわしい佐渡」のイメージアップを図るため、官民一体となって幹線道路および観光地周辺道路等の草刈り等清掃活動を実施しました。

そのほか、農道協の除草や林道の草刈り、側溝清掃等を行うとともに、道路パトロールを行い、通行の支障になる雑草の刈取りや支障木の伐採を実施しました。



労働費 1,624万円

■雇用促進の支援事業 1,265万円

市内就職に向けたセミナーや合同説明会等を開催したほか、地域若者サポートステーションと連携し、若者の就職を支援しました。また、非正規雇用者を正規雇用化する事業所に対し、国の助成金に上乗せして支援しました。

